

収入向上・女性の自立

4年目の苗木育成・農業研修

CMIP の収入向上のための事業は、4年目になる今年はこれまでに配布した苗木の生育状況を調査し必要な助言を行います。これまでは元奨学生のボニファシオさんが担当していましたが、結婚・転居により担当をはずれました。後任はエルメールさんです。農業を専攻し、住民のために働きたいと決意を語っていたボニファシオさんの離職は残念ですが、これまでに学んだ知識や CMIP での体験を新天地でも生かしてくれるでしょう。

11月訪問時に2008年度WE21ジャパンみどりの支援で苗木を配布した3村を訪問しました。事前にエルメールさんが約1ヶ月半かけ、2007年分を含む合計10村の苗木2,045本の一本一本に関する報告書を作成していました。彼も大学で農業を学んだ専門家です。長く自分の村で農業をしており、住民の指導でも具体的な助言ができそうです。毎日早朝から歩き始めてデータを集めたと聞き、頭が下がりました。



1年半で1mほどに育ったオロクロフェ村のココヤシ
マサムロックさんの畑で。左端が新担当エルメールさん

CMIP を通じてのココヤシ・コーヒー・ドリアンなどの苗木育成・研修・配布事業は、PFP が指導する土壌保全の比重が大きいアグロフォレストリーと少し感じが違います。貧しい農民の収入向上に重点を置いており、景観的にも山腹の等高線状の苗木の列は見られません。収入向上になるとわかっていても苗木を買えない、栽培法を知らない農民に広げていきたいとエルメールさんは話してくれました。

COWHED の挑戦 マイクロファイナンス マネージャー・ジェマさんの報告より



メルチさん、長い間ありがとうございました！

1995年の組合設立の功労者メルチさんが12月初め組合長を辞任、組合も退会しました。これまでもティボリ人役員との軋轢や家族の問題等がありましたが、組合員女性たちのために続けてくださっていました。

新組合長はメルチさんの前任者でティボリ人のネニータさんです。実務面は、これまで同様マネージャーのジェマさんが続けます。ハンディクラフト事業に支障はありません。以下ジェマさんからの報告の抜粋です。

<12月19日付> ローン対象者の選定が終わり、21日に最初の交付金が振り込まれます。これは貸付金用で人件費には使えません。貸付金の利子が担当スタッフの交通費や手当になるので、現在はハンディクラフト販売収入を流用しています。

嬉しいニュースです。ダバオの観光スポット、パラサイドアイランド・パーク&リゾートが組合の製品を置いてくれることになりました。今日はローン希望者の研修に当たるスタッフのための研修があります。役員・スタッフがみな協力してくれるので私も頑張れます。

<1月24日付> ILOから2回目の交付金が振り込まれました。前回同様1万ドルです。対象者を厳しく絞っている所以前の交付金の6割が残っています。貸付金は、(最初に)利子を天引きして渡します。天引き分が人件費ほかの運営費になります。

<12月26日付> ILO事業は大変ですが、以下のスタッフで頑張ります。責任者ダイアナ、ローン担当デリア、会計ハンナ、販売はマイダを中心にマリアがサポート、その他備品調達担当キアゴです。

ILOローンの対象はハンディクラフト生産者だけでなく、米などを売るサリサリストアや路上の魚売りも含めています。組合員優先ですが非組合員も対象で、すでにスカイラブ(乗合バイク)に1000ペソを貸し付けて日払いで返済を受けています。

それではよいお年を！(文責・山崎)

